

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	公園緑地課	職	次長兼課長	氏名	浜田 哲郎
評価者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	田村 功司

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	5,300 (R1)	5,063 (H29)	4,951 (H30)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	兼六園・金沢城公園の利活用の推進	千人	5,300 (R1)	5,063 (H29)	4,951 (H30)	城と庭の魅力発信事業費	県民	26,881	21,077	B	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度 H14	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 都市公園法	

作組	織	公園緑地課
成職・氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 主幹 大脇暢博	
者電話番号	076 - 225 - 1772 内線 5263	

1 事業目的  
「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により金沢城と兼六園の魅力を国内外に発信する。

2 事業概要  
キャッシュレス決済の対応、夜の魅力アップとして玉泉院丸での生演奏、兼六園の夜間開園など、新幹線開業後に増加する国内外の観光客へのサービスの向上に努める。

【学習事業】  
・継続 「城と庭の探求講座」全10回開催

【案内事業】  
・継続 玉泉院丸案内所にボランティアガイドを常駐  
・〃 重要文化財「石川門」「三十間長屋」の特別公開(土日) 年間 107日  
・〃 重要文化財「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開(行楽期)年間 31日  
・〃 ボランティアガイド、外国人向けガイドの常駐(全日)

【もてなし事業】  
・継続 春 菓子のふるまい、加賀菓子展等(金沢城)  
・〃 夏 ライトアップコンサート(金沢城)  
・〃 秋 中秋の名月観賞会(ミニコンサート)(金沢城・兼六園)  
・〃 秋 本丸園地の夜間開園(11月の四季物語実施日)  
・〃 冬 新丸広場での凧揚げ体験、鷹匠による放鷹術の実演など  
・〃 四季 四季の花巡りツアー 6回

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備				評価	C
課題	兼六園・金沢城公園の利活用の推進					
	指標	兼六園・金沢城公園入園者数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	5,300	3,404	5,472	5,178	5,063	4,951

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	21,505	16,128	16,128	26,881	26,881
	決算	17,376	16,128	16,128	20,403	21,077
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計		77,699	93,827	109,955	130,358	151,435

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	「城と庭の探求講座」(全10講座)により、延べ1,459名に対し、歴史と文化を深く発信することができた。また、「城と庭のもてなし事業」では、前年比4%増の18,324名の参加者に対し、四季の魅力を体験する機会を提供した。上記に加え、ボランティアガイドを常時配置しており、金沢城公園・兼六園の魅力発信や観光客のより深い理解・満足につながっている。 ※来場者アンケートの「満足」の回答割合:97%
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	金沢城・兼六園の多様な魅力を国内外に発信するため、引き続き、ホームページによる情報発信や探求講座を行うとともに、より多くの来園を目指すため、観光客が立ち寄りやすい週末夜のミニコンサートを企画するなど、さらなる魅力アップを図る。